



"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT"

The service club of the YMCA THE Y'S MEN'S CLUB OF NISHINOMIYA



AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MEN'S CLUB - CHARTERED MAY 17TH, 1948

主 題 (2012 - 2013)

- 国際協会会長(IP) Philip Mathai (インド)
"Be the light of the world" 「世を照らす光となろう」
スローガン "Share your blessings in love"
「恵みを愛もて分かち合おう」
- アジア地域会長(AP) Oliver Wu (台湾)
"Years bring wisdom" 「歳月はY'sをワイズ(賢者)にする」
スローガン "Action vitalize life with strength" 「行動が活力を呼び覚ます」
- 西日本区理事(RD) 成瀬 晃三(名古屋クラブ)
"Let Y's men Light Shine Ohters In the club, in the community, in the world"
「先頭に立ってワイズの光を輝かそう クラブで、地域で、国際社会で」
スローガン "Devote Yourself Y'sdom and Get More Satisfaction!"
「ワイズメンの満足度向上に真摯に取り組もう」
- 六甲部部長(DG) 上野 恭男(芦屋クラブ)
『柔軟な創造で愚直に積極的に、ワイズライフを楽しもう！』
"With the heart filled with creative evolution, Let us enjoy Y's life faithfully and constructively"
- 西宮クラブ会長(CP) 長井 慎吾
『親睦と奉仕の実践でやりがいを湧かそう！』 "Let's enhance Y's spirit friendship and service activity!"

2012年11月

第775号

《66期-05号》

Since 5.17.1948 →

5.17.2013 : 65周年

クラブ主役員

会 長 長井 慎吾
次期会長 堤 一幸
直前会長 濱崎 進一
副 会 長 山本 常雄
書 記 馬場 一郎
書 記 藤原百合子
会 計 足立 康幸
会 計 土橋 哲夫
監 事 岩田 健司
担当主事 宗行孝之介
部ファンド主査 濱崎 進一

・スポンサークラブ
大阪クラブ
・DBC 締結(2007)
近江八幡クラブ
広 島クラブ

2012年10月 西日本区強調ポイント "Public Relations Wellness" 吉村 秀喜広報事業主任(長浜クラブ)

➤ 「世界につながる、世界つなげるブラザーフッド基金(BF)。使用済み切手収集から始まる国際交流の輪。あなたの貢献で世界のワイズはつながる。」

2012年11月第一例会のご案内

日時: 2012年11月16日(金)19時~21時

会場: 西宮YMCA 保育園3階ホール

ドライバー: 小野勲紘メン、濱崎進一メン

1. 開会点鐘 長井慎吾会長
2. ワイズソング 一同
3. 聖句朗読
4. ゲスト・ビジターの紹介 長井慎吾会長
5. 食前感謝・会食 一同
6. ファミリープログラムの準備 宗行館長・リーダー
7. YMCAサービスのあり方と今後の方針 一同討議
8. Y'sニュース 長井慎吾会長
9. YMCAニュース 宗行館長
10. お誕生日のお祝い 長井慎吾会長
11. 閉会点鐘 同上 ※BF・後片づけ

※次回 第二例会: 2012年11月2日(金) 19時~

今月の聖句

『その果実によりて彼らを知るべし。斯(か)く、すべて善き樹は善き果(み)を結すべし、悪しき樹は悪しき果(み)を結ぶ。』 マタイによる福音書 第7章16節-18節

小野 勲紘メン 選

10月 例会出席状況 在籍会員数 23名

第1例会(10.21日) 第2例会(10.5金)

メン・ウィメン 20名 メン・ウィメン 14名

メネット・コメット 24名 メネット・コメット 0名

ゲスト・ビジター 1名 ゲスト・ビジター 0名

合計35名 make-up 3名 計 14名

出席率 100.0% (累計出席率 97.8%)

ファンド・BFの累計	目標	10月	累計
ニコニコファンド		600p	6,600p
Brotherhood Fund [BF]	345 \$	0p	11,400p
使用済み切手 (前期1200g)		0g	0g
東日本大震災支援ファンド	27,600円	0p	24,800p
TOF・FF・EF・JWF	368 \$ / 345 \$ / 5,000円	0p	0p

HAPPY BIRTHDAY TO YOU !

10月9日 廣瀬敦子メネット、10月12日 万本恵メネット、
11月10日 浅野純一メン、11月18日 山本容子メネット、
11月23日 阪根新メン、11月30日 山口吉郎メン

〒662-0977西宮市神楽町5-23 西宮YMCA内 第一例会: 毎月第3金曜日 19時~

TEL: 0798-35-5987 FAX: 0798-23-6170 交通: JRさくら夙川下車南

西宮クラブホームページ URL: <http://www.kobeymca.org/ys/nishinomiya/html> (YMCA経由)

<http://www.kobeymca.org/ys/nishinomiya/index.cgi> (西宮公式HP)

西日本区ホームページ URL: info@ys-west.or.jp (理事通信、事業主任通信、各種資料、各クラブ他)

我らのモットー：To acknowledge the duty that accompanies every right !

(強い義務感を持つと、義務はすべての権利に伴う)

【会長メッセージ】

長井 慎吾 会長



10月は、じゃがいもファンド事業と西宮YMCA・保育園の地域カーニバル(地域バザー)への参加と、頭と身体を動かす忙しい月でした。前者は浅野委員長、濱委員を中心に頑張ってもらい、販売と配達とも無事

終わることが出来ました。

カーニバルも堤委員長、山本メン、土橋メンの采配でカレー販売、のみの市ともメネットのご協力もあり例年に負けない募金を得ることができました。次に11月3日にはチャリティーランがあり、カレー販売を実施予定です。YMCAサービス活動のオンパレードです。それぞれの活動は恒例のプログラムであり、メン、メネットとも内容を良く理解されているので、綿密な打ち合わせをしなくても、そつなく進んでいきます。そのため、内容を良く知っているメンバーに毎年同じ負担が掛っているのでは?と懸念いたします。また、プログラムをこなすことに精一杯で、YMCAサービスとしての質の向上まで手が回りません。少しでもノウハウを文書化して、事務的な作業は合理化できないかと思いますが、なかなか手に付きません。終わってからでも、来年に向けて進化させて行きたいと思いますのでご協力をお願いします。

【例会報告】

山本常雄メン、土橋哲夫メン

—第30回西宮YMCA合同カーニバル—

西宮YMCA合同カーニバルは今年で30回を迎えました。「ひとつひとつの心が大きな力になるように!!」の合言葉で開催されました。当日は好天に恵まれ、朝早くからたくさんの子供連れファミリーの来場者があり、総勢800名を超える大盛会となりました。

西宮YMCA・西宮YMCA保育園・西宮つとがわYMCA保育園が一緒になって、多くのボランティアリーダーの協力を得て、焼きそばなどの出店や、園庭で楽しいイベント・抽選会などが行われました。

私たち西宮ワイズメンズクラブは、堤 一幸メンが実行委員長として、計画段階からリーダー・シップを発揮して、YMCA側と入念な打ち合わせや調整をしました。ワイズは例年通り、「のみの市」への出品物の販売と「カレーライス」販売、それと昨年来の「東日本大地震に伴う東北支援のための物品販売」を担当しました。前日の準備作業と当日の行事に、ほとんどのメンバーが出席しました。バザーは約10万円、

カレーライスは約6万円、東北支援物品販売は約3.3万円の売上げがありました。(因みに東北支援の本年度年間目標は35万円です)

なお、このカーニバルの収益金は

- ① 国際協力活動支援や東日本大震災、国内災害支援のため
- ② 地域の子供たちのための活動支援のための活動支援のため
- ③ 障がい児・者の支援のため
- ④ 神戸YMCA125周年記念プログラムのために捧げられます。

私たちの反省点としては、

- ① のみの市の出品数や付加価値の高い商品が少なかったこと
- ② カレーライスの下ごしらえの手順について、保育園担当者側と調整する余地があったこと、それらを評価会ですり合わせること
- ③ 担当が固定化されてしまっており、計画的な配置転換が必要であったこと等があげられます。

来場ファミリーが楽しんでおられた様子を見て、良かったと思うとともに、このカーニバルで、「ワイズメンズクラブを楽しもう」という今年の会長目標の一部を実践できたのではないのでしょうか



東北宮古商品販売コーナー



のみの市



カレーショップ



園庭での催し

出席者は長井会長、浅野、足立、石井、岩田、岡田、堤、土橋、馬場(一)、馬場(貴)、濱崎、廣瀬、万本、三島、宗行、山口(政)、山口(吉)、山本各メン・ウィメン計18名、足立、岡田、長

井、馬場(季)、濱崎、廣瀬、山口(洋)、山口(実)、山本各メット計9名、長井美波都コメントの合計28名、また水野総主事がご多忙中にもかかわらずご出席下さいました。当日参加出来なかった小野メン、藤原ウィメンも前日の準備・値付け作業に協力されました。(山本常雄・土橋哲夫)

【事業通信】

浅野純一ファンド事業委員長

「じゃがいも&かぼちゃ大作戦」を終えて



皆様「じゃがいも&かぼちゃ大作戦」(10月12～14日)は大変お疲れ様でした。皆様の多大なご協力で、じゃがいも800箱、かぼちゃ200箱を完売することができ、高い目標をほぼ達成できました。

今年は3日間とも好天気恵まれ、作業はすこぶる順調に行うことができました。ただ、年ごとに作業が辛くなってきているのも事実です。今期の反省を踏まえながら次期の計画に生かしていきたいと思っています。皆様のご意見をお寄せ下さい。

なお、毎年のごことで濱メン、メネットにはお宅を提供いただきお世話になり、それにご近所の皆様にはご迷惑をおかけしています。静かに作業を行おうと注意していますが、つい騒音を起こしてしまいます。お許しをですみませんが、お許しを。

最後に、集金作業大変でしょうが、できるだけ早期に下記口座に入金をお願い致します。

※口座番号は【会計・お願い】欄に記載があります。

【西日本区交流事業委員会報告】

廣瀬 一雄メン



9月9日(日)京都駅八条口前の新都ホテルで、宝塚クラブの石田由美子交流事業主任と、熊本ジェーンズクラブの上村眞智子次期交流事業主任と私の3名で西日本区の交流事業委員会をもちました。

報告事項としては、STEP事業経過報告で四日市クラブコメント、大西慎太郎君は2912年7月31日、予定通りナイロビに向け出発。西日本区から10万円の支援金。その他、中部から支援献金、四日市クラブ例会での卓上献金とのこと。

DBC希望クラブプロフィールや10/20の九州部会で阿蘇クラブと京都ZEROクラブがDBC締



結予定、などなどでした。

会議終了後ただちに京都部部会の催されるウエスティン都ホテル京都へバスで移動。米村主任、岡野主任とご一緒。私はメネットと同行しましたが、彼女はどうか第二部のライブ・嘉門達夫がお目当てのよう・・・部会はさながら区大会のようで大勢の参加者と長時間の出しもの。同じテーブルの彦根シャトー、なかのしまクラブの皆さんが退席され我々も、とホテルを後にしました。近江八幡クラブからは浅岡直前理事はじめ11名のみなさんが参加されていました。

【触主面(フレッシュメン)登場】

宮地 京子特別メネット

「父の思い出」



私がまだ幼かった頃、父は7歳上の姉と9歳上の姉にワインレッドのセカンドバックを、2人にプレゼントしました。そして「成人になった女性はべた靴を履いてはいけない。ハイヒールを履きなさい」と話していたのを覚えています。そう聞かされていた2人は今では覚えていないのが不思議。でも私は思います。父が言いたかったのは、「戦後、時代は変わって、女性も自立して行かなければ行けない。そのためには多少のリスクを負ってでも自分で何事も判断して、実行して行かなければならない。」と。

ハイヒールと言うものは、慣れないと中々歩行が困難です。況してや、かっこ良く歩くのは難しいものです。そこに父は2人への門出の言葉を託したのだと思います。そして私は72歳になった今でも「8センチ」のハイヒールを履いて行動しています。父が託した思いはともかく、ハイヒールを履いていると気持ちが律しられるように思うのです。背筋を伸ばして前をしっかり見ないと歩けません。そこに老いを感じながらも、自分自身を律し、出来るだけ他人に甘えることなく(あくまでも自分の独りよがりかもしれませんが)生きて行ければと思っています。

ハイヒールの効用をきっと信じて！

次月号以降の予定 12月号(11月20日締切)は丸山悦治メン、1月号(12月20日締切)は岡田メンにお願いいたします。

【Y's ニュース】

会長 長井 慎吾

1. 六甲部部報「Four Seasons 夏号」が発行10月1日に、六甲部ホームページに掲載されました。4月からの部

の活動を写真入りで分かり易く掲載しています。

2. 森前六甲部長がエルマークロウ賞を受賞、六甲部では1993/1994年度に学園都市クラブが設立された年に当時、西部部長であられた大林正治メン(宝塚クラブ)が受賞されて以来18年ぶりです。ご本人は、受賞の背景に2011/2012年度は他のどこの部にも新クラブ設立がなかったことと、その中で西日本区発足以来11年ぶりに事業主任制度の統合・効率化と国際化にむけての対応を含めた改革案を提案し、認められて成案にいたったこと。また六甲部各クラブが東日本大震災救援や地域に根ざした奉仕活動、YMCA サポート活動、ワイズ会員増強・若返り活動などにおいてそれぞれ成果をあげたことではないかと評価されています。(エルマークロウ賞:特に傑出した働きをした部長に与えられる国際賞。任期半場で倒れたカナダの元理事エルマー・クロウ氏を記念して創設。区理事が推薦し、国際会長が決議する)
3. 六甲部ファンド研修会開催 10月11日に、神戸ポートクラブ拡大例会として、六甲部ファンド事業研修会が開催され、西宮から濱崎主査が出席されました。西日本区から、岡野ファンド事業主任より、国際委員を兼ね、来期は、アジア会長になられる立場から、幅広い国際的な話を聞くことができたとのことです。
4. 第二次宮古訪問団報告が東日本区のウェブサイトに掲載、東日本区の東日本大震災・支援対策本部広報担当 菰渕光彦(東京サンライズクラブ会長)メンの取り計らいで、東日本大震災・支援対策本部ウェブサイトニュースとして掲載されました。これを読まれた大阪なかのしまクラブから11月に宮古を訪問する計画があり、早速インタビューの依頼がありました。10月29日に賀川記念会で馬場メン以下訪問団のメンバーが対応しました。

【YMCA ニュース(10月号)】

宗行 孝之介メン

台風一過ですが、みなさまお変わりありませんか？全国的にやれ不景気だの、やれ領土問題だの騒がしいですけれど、私たち社会教育に携わるものとして昨今一番の関心事はやはり「いじめ」問題です。特に大津の事件については、学校側の対応はもちろん拙いのですが、まさしく「メディアスクラム」もつと言えればマスコミが言葉でもってまさしく学校当局を袋叩きをしている図が繰り返されています。この件について日本 YMCA 同盟の島田総主事は「メディアの学校いじめ」ではないかとも書かれています。また、類似した事件が起こるたびに関係者へのバッシングと「謝罪」が繰り返されます。非難する側は「自らの無謬性を前提とし

て」相手が屈服するまでこれでもかと叩きます。相手の人格を完全に破壊するまでの叩き方は、完全に常軌を逸していると思うのですが。さらに共通するのは「俺は悪くない」「悪いのはあいつだ」と誰かに責任を転嫁する姿勢のみが蔓延していると思うのは私だけでしょうか？良くも悪くも「常識」とか「節度」とかがこの国から消滅してしまった気がします。わたしはこれらのことをキャンプで学んだ気がするのですが。大げさかもしれませんが YMCA は「Good Citizenship」を標榜しており、今後もこれは変わることはありません。今後もリーダー諸君や子どもたちと体験を通して学んでゆきたいと思っています。

※ YMCA ニュース 10月号はミスで掲載できなかったため、今月号に掲載しました。宗行さんどうも申し訳ありませんでした(馬場 貴英)

【YMCA ニュース(11月号)】

宗行 孝之介メン



いつもご支援ありがとうございます。10月6日～8日の日程で全国 YMCA リーダー研修会が熊本 YMCA の阿蘇キャンプ場で行われました。全国 20 の YMCA から 96 名のリーダーの参加です。神戸 YMCA から

は 9 名の参加。西宮からは井内伸リーダーが西宮ワイズからご支援いただき参加しました。私宗行も全国ウエルネス担当者の役員として参加させていただきました。阿蘇キャンプ場は私も初めての訪問で、行ってみると何か余島のニオイがふんぶん。聞いてみるとやはり神戸 YMCA の大先輩、酒井哲雄さん、本間立夫さんのご指導を頂いているとのこと。むべなるかなです。2日目には阿蘇ワイズの肝いりで阿蘇の牧場産の作りたてのソーセージ、新鮮な牛や豚で BBQ でリーダー諸君は大喜び。もちろん、食べてばかりではなく、さまざまなセッションでそれぞれの交流と学びがなされました。やはり若い「たましい」の交流が YMCA の根幹だなどと思わされた 2泊3日でした。

別の機会にルーテル教会の市原牧師ともお話していたのですが、約 100 年前から行われている東山荘夏季学校がその後の社会にどれほど有為な人材を輩出したかを思うとき、今の私たちの YMCA 活動が運動を通して社会に貢献する人材をどれだけ未来に送り出せるか、それが YMCA の評価であるかもしれないと思われました。今後ともよろしく願いいたします。

【リーダー会通信】

家田 奈津美リーダー

いつもあたたかいご支援ありがとうございます。夏のキャンプも全て無事に終わり、少し肌寒い季節になっ

てきました。10月の頭には、小学生のセッション3つの例会キャンプがあり、淡路島へ行ってきました。お天気にも恵まれ、普段の例会では見ることのできない子どもたちの新たな一面を見ることができ、私たちリーダーにとっても新たな課題が見つかり、更に気を引き締めて取り組んで行こうと思う、とてもいいキャンプになりました。

これからは11月にはチャリティーランがあり、12月にはクリスマス会、スキーキャンプというように冬のプログラムが増えます。たくさん行事やキャンプが続きますが、それらも一つ一つ安全に、子どもたちの笑顔で寒さも吹き飛ばすくらいの楽しいものになるようにこれからリーダー一同で作っていきたくと思っています。今月は待ちに待ったカーニバルです。リーダーたちも、中高生のグループも出店します。準備してきたものの成果を十分に発揮できる場にしたと思います。

これからもリーダー会一同、より多くの子どもたちとの経験、体験に関わる場を共有していきたいと思っています。いつもあたたかいご支援ありがとうございます。

【今月の聖句に寄せて】

小野 勅紘メン



西宮クラブが60周年を迎えた2008年9月に帰天されたクラブの大先輩、伊地知睦夫メンは文語体の聖句を大切にされました。

また、この聖句は私がかつて勤務した会社(建設業)の先代社長はクリスチャンではありませんが、座右銘として、社史や発行する著書にこの聖句をよく使われました。

良い樹とは優れた社員を意味し、良い果実とはよい仕事の成果です。ここで言う仕事とは必ずしも売上げや収益を意味せず、お客様に喜ばれる仕事のことです。(すなわち満足度) 損してまで良い仕事をすべきではないと思う人もいましたが、是としない厳しさがありました。同業他社と一線を画するコンピテンシー(成果に至るプロセス)は創業以来のものでしょう。

その一例が他に例を見ない社員教育で、新入社員は全員が深江の教育寮で寮長のもとで1年間の寄宿舎生活を送るといふものは、江戸初期から営々と続く徒弟制度に端を発していて、良い果実(仕事)のための良い樹(社員)を育てました。これはアメリカ海軍の“All on the deck”(どんな階級であろうが船のデッキの上では平等で共に汗をかくこと)や、賀川豊彦先生が生協を興したときの合い言葉“一人は万人のために、万人は一人のために”という言葉(古くは三銃士やラグビーの合い言葉の“一人は皆のために、皆は一人のために”)にも通じる言葉です。

もう一つのお話は、泉北クラブの遠藤通寛メンのお話です。神戸で西日本区大会があった時、実行委員として各部会を回ってキャンペーンを行っていました。京都部会に参加した時に翌日鳥取での瀬戸山陰部会に参加出来ないのが横断幕を遠藤メンに託しました。遠藤メンは翌日横断幕を忘れてしまったのですが、遠藤メンがバスで後を追いかけて無事届けてくれました。遠藤メンの責任感の強さに感謝するとともに敬服したものでした。良い果実が先にあるのではなく、良い樹が良い果実を結ぶことを実感したものです。

【会計報告・お願い】

会計 足立 康幸・土橋 哲夫

西宮クラブ前期(7月～12月)分の会費を集めております。皆様速やかに会計の方までお寄せ下さい。例会時に現金でお持ちくださっても、下記の口座に振込んで頂いても結構です。なお、振込み手数料はご負担下さい。

【会費等振込み口座】<通常会計>

振込み先口座: 三井住友銀行夙川支店

普通預金、口座番号: 3230220

口座名: 西宮ワイズメンズクラブ 山口政紀

【じゃがいもファン等の振込み口座】<特別会計>

振込み先口座: 三井住友銀行夙川支店

普通預金、口座番号: 3289977

口座名: 西宮ワイズメンズクラブ 山口政紀

【今後の予定】

ドライバーの予定(敬称略)

11月(小野、濱崎)

12月(丸山、万本)

※ 60周年記念誌編集作業: 第2・第4金曜中心

1月(三島・岩田)

11月の予定

2日(金) 第二例会

3日(土) チャリティーラン しあわせの村

6日(火) ワイズディ

16日(金) 第一例会

23日(金祝)ファミリープログラム

12月の予定

7日(金) 第二例会

15日(土) 第一例会(クリスマス祝会)

1月の予定

11日(金) 第二例会

12日(土) 神戸YMCA 新春YYフォーラム

13～14日(日～祝) 西日本区次期役員研修会

18日(金) 第一例会